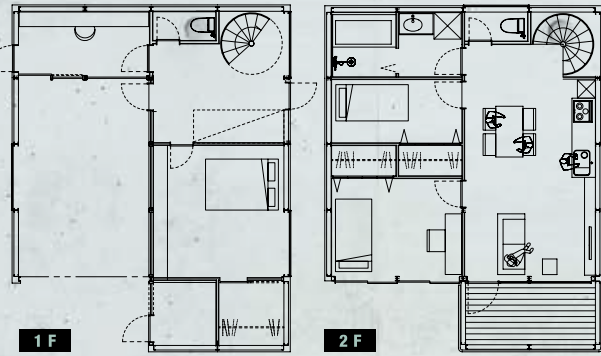


FLOOR PLAN

4スパン×4スパン+2坪=18坪の変形箱型プランです。ガレージ空間とモーターライフ愛好者のためのホビールームを内蔵しながら、居住空間としてもLDKの十分な開取りを確保しています。この効率的かつ豊かなプランを実現しているのがせん階段で、オリジナルの分解式せん階段を装着。鉄感を十分発揮します。それはさながら現代の大黒柱。バルコニーで外部に開放されたリビングダイニングスペースは必要にして十分な面積を確保しています。フィックス開口とスチールドアの取り合わせは世田谷ベースと同一仕様。



リビングルームの内観。鉄骨の表面(フランジ)だけを露出させた「真壁」仕様。壁面をガルバリウムにして、デイトナハウスらしさを演出。壁面にはデイトナハウスオリジナルの棚受け金物「FASブラケット」を装着して、テレビ台や本棚を構成しています。脱着式なので場所は自由に変えられます。「構造体なのに家具である」をテーマにデイトナハウスが開発した、スグレモノです。バルコニーに面してダブルプレースのガラス開口がこの家の顔の内と外両方に向けて作っています。

開口開口3.6mのガレージ空間。クルマの両側に約70cmの余白を残していますので片側に寄せれば、バイクの格納も可能。そして、その奥にはガラス張りのホビールーム。クルマ好き、バイク好きにとっての夢であると同時に絶対必要な空間です。ガレージ壁面もガルバリウムの仕様になっていますので、磁石など思いのままに貼り付け可能です。インナーガレージ付きの企画住宅。今までなかった新境地です。



Theme

素材のアクセントが持ち味
鉄骨箱型住宅の新境地

たくさんある箱型住宅商品群の中に、あえて鉄骨の箱型住宅で挑戦してみました。
垣間見える鉄感が孤高のポジショニングを約束します。



INFORMATION
LDKinc.

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

代表: 玉田 敦士
WEB: www.ldk.co.jp
TEL: 03-6228-4933

DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP
www.daytona-house.com

この住宅は4スパン×4スパンの正方形+上部バルコニーで構成。ワンフロアは18坪で、延べ床面積は34坪。他の箱型商品にはない特徴。それはやはりガレージを、箱の中に内蔵していることです。その分バルコニー部分が突出しました。それがかえってこの家の特徴的なファサードデザインをもたらしているのです。

鉄骨の住宅らしく、LGSパネルとダブルプレースをバルコニーに面した窓から見せながら、その鉄感とバルコニーのパイプ手すりを呼応させています。この手すりは、丸パイプをコーナー部分でRに曲げたもので、いわゆる、パウハウス仕様。突出部分の白い壁は、ジョリパットという材料の塗り壁で、中心を外したところに船舶用の丸窓をつけてアクセントにしました。白い塗り壁部分があることで、メインマテリアルのグレーのガルバリウム外壁がより一層引き立つのです。

のが現状で、逆に没個性になっているケースも多いのです。でもそれは避けたいところ。そこで今回はあえてそのガルバリウムと箱形を用いた、デイトナ流の鉄骨箱型住宅を考えてみました。

今の世の中は箱型住宅全盛の時代。様々なメーカーがサイコロのようなかたちの住宅商品を開発・販売しています。外壁は亜鉛とアルミニウムの合金である「ガルバリウム」。その見た目の良さに加えて、メンテナンスフリーであることも手伝って多くの商品でこの人気素材が使われています。そのためメーカー間でデザインの違いを出すのが難しく、ユーザー自身も区別がついていないのが実情です。家を選んでいく段階では、「自分の家はかなり個性的だ!」とワクワクしながら決定するのですが、いざ家が完成すると、隣もその隣も、みんなよく似た家になっている

の。様々なメーカーがサイコロのようなかたちの住宅商品を開発・販売しています。外壁は亜鉛とアルミニウムの合金である「ガルバリウム」。その見た目の良さに加えて、メンテナンスフリーであることも手伝って多くの商品でこの人気素材が使われています。そのためメーカー間でデザインの違いを出すのが難しく、ユーザー自身も区別がついていないのが実情です。家を選んでいく段階では、「自分の家はかなり個性的だ!」とワクワクしながら決定するのですが、いざ家が完成すると、隣もその隣も、みんなよく似た家になっている

What's Daytona House?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「プレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGSパネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGSパネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

